

令和8年度 第1回 大府市生涯学習審議会議事概要

日 時 令和8年5月20日(水) 14時00分から15時10分まで
場 所 大府市役所2階201・202会議室
出席委員 会長 池田逸夫、副会長 池田美代子
倉永直樹、安藤友里恵、秦讓、神田由美、石黒公子、山本友和
欠席委員 大橋房代、館内三郎
事務局 副市長 山口智絵子、教育長 松山靖
市民協働部長 中村浩
生涯学習課長 近藤豊
吉田公民館長 牧之瀬睦美、北山公民館長 坂野恵利加
生涯学習係長 阪野圭亮
生涯学習係主任 松本憲明、生涯学習係主事 前田大輝
欠席者 なし
傍聴者 なし

1 副市長あいさつ

本日はご多忙の中、令和8年度第1回大府市生涯学習審議会にご出席を賜り、誠に有難うございます。委員の皆様におかれましては、日頃から本市の生涯学習行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本市におきましては、本年度から組織体制の見直しを行い、これまで協働推進課において市民協働と一体的に担ってまいりました生涯学習分野を独立させ、大府公民館に「生涯学習課」を設置いたしました。今後は、公民館講座や市学習支援事業「まなポート」などを通じ、これまで以上に身近で利用しやすい学びの場の充実を図るとともに、学びの成果が地域づくりへとつながるよう取り組んでまいります。

また、昨年度の審議会におきましては、公民館講座の在り方や生涯学習データベースの活用などについて、貴重なご意見をいただきました。特に生涯学習データベースにつきましては、掲載内容や活用方法の見直しが必要とのご指摘を踏まえまして、本年度は各公民館と協議を重ねながら見直しを進めてまいります。

さて、本日の審議会では、「令和7年度生涯学習事業実績」及び「社会教育関係団体の認定」についてご審議をいただくほか、今年度の主な事業についてご報告させていただきます。

委員の皆様におかれましては、ぜひとも忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日の審議が実り多きものとなりますことを祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

2 会長あいさつ

最近は厳しい暑さが続いており、先週末には大府市でも7月並みの気候となる30を記録した。本日も車載温度計が30を示すなど大変な暑さとなっており、今夏は最高気温が40に達するという予報も出されている。

この夏を越えた9月には、名古屋にてアジア競技大会が開催される。アジア地域から大勢の選手や関係者が集まる大規模な大会である。先の東京オリンピックでは日本選手団が非常に優れた成績を収めたため、その勢いにあやかり、本大会でも良い結果が残せるよう我々も応援していきたいと考えている。

本日は第1回の審議会である。いくつかの議題が提出されているので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、簡単ではあるが開会の挨拶とする。よろしくお願ひしたい。

3 委嘱状の交付

机上にて配布

4 大府市生涯学習審議会について（資料 1）

事務局：資料 1に基づいて説明

（質問、意見等なし）

5 議題

(1) 令和7年度生涯学習事業実績について（資料 2）

事務局：資料 2に基づいて説明

（委員）永田雅宜氏関連事業に関して

功績を広める目的と、算数・数学への興味関心を高める目的の2つの側面があるが、講座の内容が後者に偏っているとの印象がある。また、関連書籍「博士のポケット」の販売実績について可能ならば記載すべきではないか。

（事務局）講座内容や、書籍の販売実績の掲載について検討していく。

（委員）若者向け講座に関して

中止になった講座は、講師の方の都合が多いとのことであったが、そもそも若者向けの講座の数が少ない中で、中止が3件ほどあったのは、なぜか。

（事務局）北山公民館では、ピラティスの講座を企画していた。しかし、働く世代は、子供が小さい世代ということもあり、なかなか時間を取ることが難しい。近隣の施設等に張り紙をするなど、周知を図ったが、最少実施人数である5人以上集まらなかった。

（委員）公民館講座のアンケートに関して

講座終了後のアンケートをどのように活用しているか？

（事務局）各公民館で実施しているアンケートの内容や満足度、意見などを集約し、次年度の講座計画に活用している。

(委員) 若者向け講座の年齢層に関して

大体どの年代を対象としているか。

(事務局) 対象年齢層は、18歳から39歳までとしている。

(委員) 図書館で開催している講座で、一番人が集まるのが、子供向けの講座である。公民館講座でも親子向け講座は集まりがよいのではないだろうか。若者向けの講座の年齢層に関して対象年齢層は、18歳から39歳までというのは幅が広すぎるのではないか。ライフスタイルが多様で参加が難しいことが考えられるので、もう少し細分化し、親子で参加できる形にするなど、企画の工夫が必要ではないか。

(事務局) 今後の検討材料とさせて頂く。

(2) 大府市社会教育関係団体の認定について(資料 3・別紙)

事務局：資料 3に基づいて説明

(委員) 新規申請「アンサンブル・はまーべ」に関して

複数の公民館をレッスン目的で利用することについて、他の利用者の機会を奪うことにならないか、今までこういった例はあったのか。

(事務局) 利用頻度はそれぞれの公民館で月1回ほどであり、他の利用者にとっても、同じ公民館で複数回利用するよりも、複数の公民館で分散させることができると思う。

(委員：欠席により書面での質問) 新規申請団体に関して

要綱には、「原則として構成人数が5名以上で、市内在住、在勤、または在学のものであること」とあるが、これは団体の講師員全員に対してか。そうであるとすると、市外在住者を含む新規申請団体については、どう判断するか。

(事務局) 構成員に市外在住者がいるが、「構成員の半数以上が市内に在住・勤・在学」という要件で運用しており、今回の「新規申請団体」については半数以上が本市在住の確認が取れている。

6 報告事項

(1) 令和8年度に実施する主な生涯学習事業について(資料 4)

事務局：資料 4に基づいて説明

(委員) 市民活動団体との連携に関して

新規重点講座「市民活動団体と考える地域の未来」について、地域課題と市民活動団体をどのようにマッチングさせるか。課題を解決するような市民活動団体を把握しているのか。

(事務局) 直営化した協働推進課と連携し、団体の情報を蓄積・共有しながら進めていく。今年度から市として団体の情報を把握し、公民館と共有し市民活動団体を巻き込んでいく予定である。協働推進課(コラビア)自体の登録団体は360ほどあるが、現状としては個別にヒアリングをしながら、情報を少しずつ蓄積している段階である。今後公民館と一緒に市民活動団体の情報共

有と地域課題とのマッチングを推進していく。

(委員：欠席により書面での質問) 公民館利用実績の数値に関して

北山公民館図書室の利用人数が少ない理由はあるか。

(事務局) 実績値を再度確認した結果、学習室開放日の実績が含まれていなかったことが判明した。正しくは、2,733人であるため、訂正をお願いします。

(委員) 市民講師企画講座の講師料に関して

物価高を考慮し、長年変わっていない講師料を引き上げるべきではないか。講師の皆様、気持ちよく講座を開催していただくためにも、前向きな検討をお願いしたい。

(事務局) ご意見として承り、検討させて頂く。

(2) 令和8年度生涯学習審議会に関わる行事予定について(資料 5)

事務局：資料 5に基づいて説明

(質問、意見等なし)

7 教育長あいさつ

本日は長時間の審議にご協力を賜り、誠に有難うございました。今年度最初の審議会でございましたが、委員の皆様、の円滑な進行へのご協力に深く感謝申し上げます。

本日は2つの主要議題についてご審議いただき、主に以下の5点について貴重なご意見・ご示唆をいただきました。

まず1点目は「永田雅宜プロジェクト」について、実際の事業内容をより効果的にアピールする方法や、要点のまとめ方についてのご意見です。

2点目は「若者講座」における、対象者の選定や募集方法を工夫し、どうしたら人を集めることができるのか。

3点目は「公民館アンケート」の実施に伴い、集まった「実際の声」の具体的な活用方法についてです。

4点目は「社会教育関係団体」の認定基準、および本来の目的の再確認について。そして5点目は「認定後の活動」に、他の利用者とのバランスを考慮しつつ、今後の活動を注視していく必要があるとの結論に至りました。

最後に、今後の大きな課題として「関係機関との連携」、特にデータの「見える化」とマッチングが挙げられました。

今後はこれらを踏まえ、「共にある団体が共に生きる組織づくり」に向けた、実効性のある取り組みを推進していく所存です。大府市の生涯学習は、地域に根差したものであり、そしてその成果によって、皆に、誰もが学んでよかったという実感ができるものでありたいと考えます。今後も皆様のご意見ご支援を頂きたいと思います。貴重なご意見有難うございました。

【次回予定】

第2回大府市生涯学習審議会

日時：令和8年8月27日（木）午後2時から

会場：大府市役所地下会議室 001・002